

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

沖縄県では、「しまくとぅば」の普及継承を重点施策と位置づけ、平成25年度に、「しまくとぅば普及推進計画（10カ年計画）」を策定し、普及継承に取り組んでいる。

「しまくとぅば」は、地域の伝統行事等で使用される大切な言葉であるとともに、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等といった沖縄文化の基層となる言葉である。

県民の皆様の「しまくとぅば」に関する調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとぅば」の普及に向けた課題と効果的な普及方法を検討する為に本調査を実施した。

### 2. 調査内容

これまで実施した「しまくとぅば県民意識調査」の集計方法と同じ手法で、「しまくとぅば」に対する県民の意識や普及の度合いについて調査。

- ・調査対象：沖縄県内に在住する18歳以上の男女
- ・調査地区：県内全市町村
- ・回収実績：2,551件

※県民全体の縮図となるように、対象調査地区人口及び年齢構成比に応じ、調査件数を比例分配し市町村毎の件数を決定した。

〈人口データ：市町村の町字別住民基本台帳人口及び世帯数【日本人】（平成31年1月1日現在）〉

### 3. 調査実施期間

令和2年1月14日（火）～令和2年2月14日（金）

### 4. 調査対象者数の設定

調査対象者数は下記のとおり設定した。

- ①市町村別人口構成比に応じて、市町村別調査対象者数を設定  
〈人口データ：市町村の町字別住民基本台帳人口及び世帯数【日本人】（平成31年1月1日現在）〉
- ②2,500件回収目標につき、回収率98%想定で必要件数を2,551件に設定
- ③2,551件を市町村別人口構成比に応じて按分
- ④按分した市町村別調査対象数を10で除し、各市町村別調査員地点数を算出
- ⑤市町村別調査員地点は無作為抽出にて設定  
市町村別人口、人口構成比、調査対象者数は4ページを参照。

### 5. 調査手法

調査員による訪問留置法及び訪問面接法にて実施した。

### 6. 調査対象者の抽出方法

エリアサンプリングにて実施した。

## 7.調査実施機関（業務委託先）

(株)アドスタッフ博報堂・MEDIAFLAG沖縄 共同企業体

## 8.集計・分析上の注意事項

回答者数は「n」で表記している。

集計値は、原則として回答数の合計を100とした場合の構成比で、小数点 第2位以下を四捨五入した値で示している。このため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。

図表1 市町村別人口、対象年代人口、人口構成比、回収数

市町村名	エリア数	回収目標	回収数	回収率	住基人口 (総数)	10代 (15-19歳)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 (70-74歳)	住基人口 (15歳-74歳)	人口構成比
沖繩県	270	2,550	2,551	100.0%	1,458,686	82,140	148,883	183,933	207,488	179,197	191,084	60,574	1,053,299	100%
北部	27	222	221	99.5%	129,622	7,344	12,327	14,936	16,108	15,402	19,780	6,086	91,983	8.7%
名護市	11	109	109	100.0%	62,602	4,053	6,732	7,918	8,247	7,278	8,437	2,599	45,264	4.3%
国頭村	1	8	8	100.0%	4,704	218	321	444	450	628	908	272	3,241	0.3%
大宜味村	1	5	5	100.0%	3,074	131	198	272	285	411	646	212	2,155	0.2%
東村	1	3	3	100.0%	1,801	68	124	162	209	230	388	91	1,272	0.1%
今帰仁村	2	16	16	100.0%	9,368	476	652	916	1,032	1,144	1,751	511	6,482	0.6%
本部町	3	22	22	100.0%	13,121	565	1,127	1,405	1,394	1,637	2,432	713	9,273	0.9%
宜野座村	1	10	17	170.0%	6,034	339	572	720	824	570	817	297	4,139	0.4%
金武町	2	19	12	63.2%	11,466	607	1,060	1,263	1,500	1,301	1,512	568	7,811	0.7%
恩納村	2	18	17	94.4%	10,246	534	1,089	1,144	1,416	1,263	1,517	463	7,426	0.7%
伊江村	1	8	8	100.0%	4,567	204	287	440	480	599	894	217	3,121	0.3%
伊平屋村	1	2	2	100.0%	1,238	78	70	123	122	173	206	62	834	0.1%
伊是名村	1	2	2	100.0%	1,401	71	95	129	149	168	272	81	965	0.1%
中部	93	905	904	99.9%	516,231	30,862	56,540	64,131	75,041	62,448	64,434	20,621	374,077	35.5%
宜野湾市	18	172	172	100.0%	97,290	5,580	11,157	13,068	14,840	11,532	11,174	3,674	71,025	6.7%
沖繩市	25	247	247	100.0%	140,612	8,648	15,567	17,381	20,665	17,215	16,937	5,481	101,894	9.7%
うるま市	22	214	214	100.0%	122,815	7,241	13,084	14,810	17,157	14,843	16,260	5,320	88,715	8.4%
読谷村	7	71	70	98.6%	40,800	2,524	4,123	4,817	5,904	5,059	5,444	1,552	29,423	2.8%
嘉手納町	3	23	23	100.0%	13,584	816	1,410	1,477	1,829	1,675	1,757	530	9,494	0.9%
北谷町	5	50	50	100.0%	28,369	1,770	2,987	3,564	4,327	3,370	3,355	1,093	20,466	1.9%
北中城村	3	29	33	113.8%	16,989	976	1,757	2,033	2,531	2,069	2,107	721	12,194	1.2%
中城村	4	37	33	89.2%	21,002	1,113	2,446	2,771	3,061	2,460	2,591	707	15,149	1.4%
西原町	6	62	62	100.0%	34,770	2,194	4,009	4,210	4,727	4,225	4,809	1,543	25,717	2.4%
南部	128	1,232	1,235	100.2%	702,408	38,723	71,376	90,476	101,697	87,098	89,899	29,141	508,410	48.3%
那覇市	56	561	564	100.5%	317,609	16,925	31,942	39,587	47,704	41,020	41,006	13,871	232,055	22.0%
浦添市	20	201	201	100.0%	113,429	6,959	12,019	14,457	17,218	14,476	13,301	4,460	82,890	7.9%
糸満市	11	105	106	101.0%	61,095	3,358	6,370	8,240	7,953	7,231	8,426	2,380	43,958	4.2%
豊見城市	11	110	109	99.1%	64,128	3,710	6,482	8,982	9,676	7,218	7,471	2,472	46,011	4.4%
南城市	8	74	74	100.0%	43,733	2,322	4,173	5,043	5,544	5,113	6,511	1,999	30,705	2.9%
与那原町	3	34	34	100.0%	19,696	1,048	2,133	2,829	2,707	2,205	2,407	783	14,112	1.3%
南風原町	7	68	68	100.0%	39,172	2,219	4,195	5,751	5,547	4,275	4,540	1,372	27,899	2.6%
八重瀬町	5	54	54	100.0%	31,193	1,629	3,174	4,160	3,959	3,807	4,229	1,203	22,161	2.1%
渡嘉敷村	1	2	2	100.0%	717	6	45	124	82	103	106	30	496	0.0%
座間味村	1	2	2	100.0%	927	12	68	125	151	146	125	38	665	0.1%
粟国村	1	2	2	100.0%	697	34	41	58	79	80	130	39	461	0.0%
渡名喜村	1	2	2	100.0%	376	11	17	29	29	62	66	26	240	0.0%
南大東村	1	2	2	100.0%	1,219	47	79	159	129	195	186	43	838	0.1%
北大東村	1	2	2	100.0%	587	27	50	69	60	105	87	20	418	0.0%
久米島町	1	13	13	100.0%	7,830	416	588	863	859	1,062	1,308	405	5,501	0.5%
宮古	11	95	95	100.0%	55,384	2,687	4,117	6,544	6,864	7,298	9,047	2,556	39,113	3.7%
宮古島市	10	93	93	100.0%	54,229	2,595	4,055	6,444	6,736	7,125	8,862	2,482	38,299	3.6%
多良間村	1	2	2	100.0%	1,155	92	62	100	128	173	185	74	814	0.1%
八重山	11	96	96	100.0%	55,041	2,524	4,523	7,846	7,778	6,951	7,924	2,170	39,716	3.8%
石垣市	9	86	86	100.0%	49,046	2,339	4,063	6,908	6,877	6,235	7,042	1,941	35,405	3.4%
竹富町	1	7	7	100.0%	4,289	126	345	680	615	511	627	158	3,062	0.3%
与那国町	1	3	3	100.0%	1,706	59	115	258	286	205	255	71	1,249	0.1%



## 第2章 調査結果の総括

### 1. 調査結果のポイント

#### 「しまくとぅば」に対する親しみ

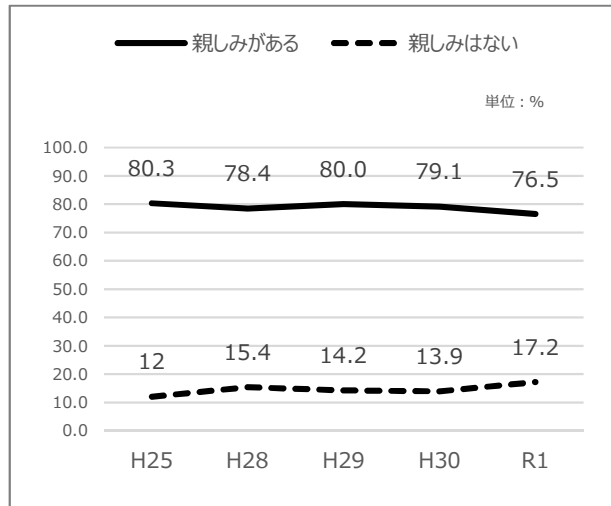
##### 【全体】

- ・親しみを持っている 38.1%
- ・どちらかといえば親しみを持っている 38.4%
- ・合計 76.5%

##### 【過去調査との比較】

- 前々回調査（平成29年度）
  - ・親しみを持っている」39.1%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている」40.9%
  - ・合計 80.0%
- 前回調査（平成30年度）
  - ・親しみを持っている」41.2%、
  - ・どちらかといえば親しみを持っている」37.9%
  - ・合計 79.1%

〈しまくとぅばへの親しみ推移〉



##### ポイント

過去調査と比較すると減少傾向にある。

##### 【性別】

- 男性
  - ・親しみを持っている 39.7%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 35.8%
  - ・合計 75.5%
- 女性
  - ・親しみを持っている 36.6%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 41.0%
  - ・合計 77.6%

##### ポイント

性別で顕著な差は見られない。

##### 【年代別】

- 最も低い→10代
  - ・親しみを持っている 14.5%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 36.7%
  - ・合計 51.2%
- 最も高い→70歳以上
  - ・親しみを持っている 72.5%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 19.8%
  - ・合計 92.3%

##### ポイント

年代が上がるほど、「親しみを持っている」、「どちらかといえば親しみを持っている」と回答した割合が高い。

##### 【地区別】

- 最も高い→宮古地区
  - ・親しみを持っている 55.8%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 32.6%
  - ・合計 88.4%
- 最も低い→八重山地区
  - ・親しみを持っている 27.1%
  - ・どちらかといえば親しみを持っている 44.8%
  - ・合計 71.9%

##### ポイント

・「親しみを持っている」、「どちらかといえば親しみを持っている」と回答した割合の合計値について、宮古地区が最も高く、八重山地区が最も低い。沖縄本島内は大きな差はない。  
 ・八重山地区は「どちらかといえば親しみを持っている」と回答した割合が最も高い（44.8%）ものの、「親しみを持っている」と回答した割合が最も低い（27.1%）。

## 「しまくとぅば」に対するイメージ

### 【肯定的な回答が多いもの】

・面白い（72.2%）、身近に感じる（67.7%）、明るい（67.5%）、誇らしい（63.2%）

### 【肯定的な回答が少ないもの】

・明瞭（28.3%）、丁寧（31.0%）、さわやか（34.6%）

### ポイント

・肯定的な回答が少ないものであっても、否定的な回答は少ない。

例 明瞭：「非常に」、「やや」の合計28.3%⇔不明瞭：「非常に」、「やや」の合計19.5%

・全般的に「どちらともいえない」の割合が高い。

## 「しまくとぅば」に対する理解度

### 【全体】

・よくわかる 18.4% ・ある程度わかる 42.5% ・合計 60.9%

### 【過去調査との比較】

○前々回調査（平成29年度）

・よくわかる 17.8% ・ある程度わかる 43.3% ・合計 61.1%

○前回調査（平成30年度）

・よくわかる 15.5% ・ある程度わかる 47.3% ・合計 62.8%

### 【性別】

○男性

・よくわかる 21.8% ・ある程度わかる 41.5% ・合計 63.3%

○女性

・よくわかる 15.2% ・ある程度わかる 43.4% ・合計 58.6%

### 【年代別】

○最も低い→10代

・よくわかる 2.0% ・ある程度わかる 22.8% ・合計 24.8%

○最も高い→70歳以上

・よくわかる 62.6% ・ある程度わかる 28.3% ・合計 90.9%

### 【地区別】

○最も低い→八重山地区 ・よくわかる 6.3% ・ある程度わかる 40.6% 合計46.9%

○最も高い→南部地区 ・よくわかる 22.2% ・ある程度わかる 43.8% 合計66.0%

### ポイント

過去調査と比較すると理解度が減少している。

合算値で見ると南部地区が66%と最も高いが「よくわかる」は宮古地区が最も高く、八重山地区は最も低い。

## 「しまくとぅば」関連のイベントについて

### 【全体】

・参加したことがある 8.2%

### 【過去調査との比較】

○前回調査（平成30年度）

・参加したことがある 9.4%

### ポイント

過去調査と比較すると減少している。

## 「しまくとぅば」の使用頻度

### 【全体】

- ・しまくとぅばを主に使う 7.6% ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 20.5% ・挨拶程度使う 28.6%
- ・合計 56.7%

### 【過去調査との比較】

- 前々回調査（平成29年度）
  - ・しまくとぅばを「使う」 54.6%
- 前回調査（平成30年度）
  - ・しまくとぅばを「使う」 49.8%

### 【性別】

#### ○男性

- ・しまくとぅばを主に使う 9.3%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 24.8%
- ・挨拶程度使う 29.3%
- ・合計 63.4%

#### ○女性

- ・しまくとぅばを主に使う 6.0%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 16.0%
- ・挨拶程度使う 27.9%
- ・合計 49.9%

### 【年代別】

#### ○最も低い→10代

- ・しまくとぅばを主に使う 1.7%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 7.5%
- ・挨拶程度使う 21.7%
- ・合計 30.9%

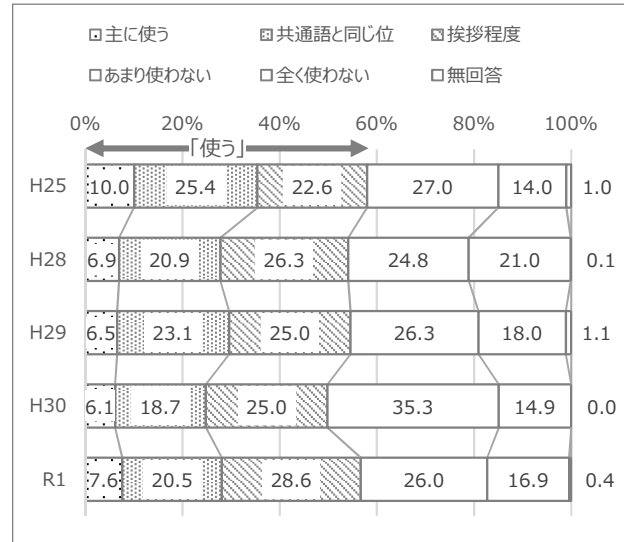
#### ○最も高い→70歳以上

- ・しまくとぅばを主に使う 29.2%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 36.0%
- ・挨拶程度使う 17.8%
- ・合計 83.0%

### ポイント

過去調査と比較すると、「しまくとぅばを主に使う」の割合は今回の調査は過去2番目に高い。「挨拶程度以上使う」の割合は平成25年度調査以降減少していたが今回増加した。

### 〈しまくとぅばの使用頻度推移〉



### 【地域別】

#### ○最も高い→宮古地区

- ・しまくとぅばを主に使う 16.8%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 26.3%
- ・挨拶程度使う 16.8%
- ・合計 59.9%

#### ○最も低い→八重山地区

- ・しまくとぅばを主に使う 1%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 14.6%
- ・挨拶程度使う 27.1%
- ・合計 42.7%

## 「しまくとぅば」を使う相手

### 【全体】

- 【割合が高いもの】・友達（48.1%）、父母（29.3%）、親戚（29.2%）
- 【割合が低いもの】・子供（14.5%）、職場の同僚（15.7%）、夫・妻（21.1%）
- ・無回答 15.4%

### 【過去調査との比較】

#### ○前々回調査（平成29年度）

- 【割合が高いもの】・友達（58.0%）、父母（39.0%）、親戚（32.3%）
- 【割合が低いもの】・子供（13.8%）、職場の同僚（20.6%）、夫・妻（24.6%）
- ・無回答 3.9%

#### ○前回調査（平成30年度）

- 【割合が高いもの】・友達（58.2%）、親戚（36.6%）、父母（36.0%）
- 【割合が低いもの】・子供（13.5%）、職場の同僚（21.9%）、夫・妻（22.9%）
- ・無回答 1.8%

### ポイント

- ・過去調査と比べ全体的に割合が下がり、「無回答」が増えている。
- ・「子供」は過去調査より増えている。

「しまくとば」を使う場面（公共の場でしまくとばを使用してもいいと思うか）

【全体】

- ・そう思う 17.7%
- ・ややそう思う 29.6%
- ・合計 47.3

【過去調査との比較】

- 前回調査（平成30年度）
  - ・そう思う 20.9%
  - ・ややそう思う 23%
  - ・合計 43.9%

【性別】

- 男性
  - ・そう思う 18.8%
  - ・ややそう思う 29.1%
  - ・合計 47.9%
- 女性
  - ・そう思う 16.6%
  - ・ややそう思う 30.2%
  - ・合計 46.8%

【年代】

- 最も低い→10代
  - ・そう思う 11.0%
  - ・ややそう思う 23.1%
  - ・合計 34.1%
- 最も高い→70歳以上
  - ・そう思う 33.4%
  - ・ややそう思う 32.3%
  - ・合計 65.7%

【地区別】

- 最も低い→中部地区
  - ・そう思う 15.5%
  - ・ややそう思う 28.3%
  - ・合計 43.8%
- 最も高い→八重山地区
  - ・そう思う 18.8%
  - ・ややそう思う 32.3%
  - ・合計 51.1%

ポイント

性別ではあまり差が無かった。  
年代が上がるにつれて肯定回答が多くなっている。

普段の生活の中での「しまくとば」の必要性

【全体】

- ・非常に必要 17.2%
- ・ある程度必要 61.3%
- ・合計 78.5%

【過去調査との比較】

- 前々回調査（平成29年度）
  - ・非常に必要 19.4%
  - ・ある程度必要 57.3%
  - ・合計 76.7%
- 前回調査（平成30年度）
  - ・非常に必要 18.9%
  - ・ある程度必要 59.7%
  - ・合計 78.6%

【性別】

- 男性
  - ・非常に必要 18.9%
  - ・ある程度必要 60.1%
  - ・合計 79.0%
- 女性
  - ・非常に必要 15.6%
  - ・ある程度必要 62.4%
  - ・合計 78.0%

【年代別】

- 最も低い→10代
  - ・非常に必要 8.4%
  - ・ある程度必要 52.0%
  - ・合計 60.4%
- 最も高い→70歳以上
  - ・非常に必要 36.8%
  - ・ある程度必要 55.0%
  - ・合計 91.8%

ポイント

性別ではあまり差が見られない。  
年代別では年代が上がるにつれて必要性を感じる回答が多くなっている。



## 「しまくとぅば」普及のために必要なこと

### 【全体】

- ・最も高い  
「学校の総合学習等での実施」→63.9%
- ・最も低い  
「民間企業でのしまくとぅば使用」→16.6%

### 【過去調査との比較】

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○前々回調査（平成29年度）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も高い<br/>「学校の総合学習等での実施」→60.6%</li> <li>・最も低い<br/>「しまくとぅば検定試験」→ 14.8%</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回調査（平成30年度）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も高い<br/>「学校の総合学習等での実施」→63.9%</li> <li>・最も低い<br/>「官公庁でのしまくとぅば使用」→ 15.6%</li> </ul> </li> </ul> |
|---|---|

### ポイント

過去調査でも「学校の総合学習等での実施」が一位。

## 「しまくとぅば」の子どもたちへの継承について

### 【全体】

- ・是非、使えるようになって欲しい 29.0%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 53.2%
- ・合計 82.2%

### 【性別】

- 男性
  - ・是非、使えるようになって欲しい 31.4%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 50.0%
  - ・合計 81.4%
- 女性
  - ・是非、使えるようになって欲しい 26.6%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 56.2%
  - ・合計 82.8%

### 【年代別】

- 最も低い→10代
  - ・是非、使えるようになって欲しい 13.6%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 48.6%
  - ・合計 62.2%
- 最も高い→70歳以上
  - ・是非、使えるようになって欲しい 49.9%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 44.2%
  - ・合計 94.1%

### 【地区別】

- 最も低い→八重山地区
  - ・是非、使えるようになって欲しい 21.9%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 58.3%
  - ・合計 80.2%
- 最も高い→宮古地区
  - ・是非、使えるようになって欲しい 36.8%
  - ・できれば、使えるようになって欲しい 52.6%
  - ・合計 89.4%

### ポイント

性別でほぼ差は見られないが年代別では年代が上がるにつれて肯定的な回答が増えている。

## 学校の授業科目に「しまくとぅば」を加える事

### 【全体】

- ・「行事や日常のあいさつ等、授業以外での活動に取り組んでほしい」→53.6%
- 「どちらとも言えない」→23.7%
- 「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい」→14.9%
- 「まったく加えなくてもよい」→7.3%

### 【過去調査との比較】

- 前々回調査（平成29年度）
  - ・最も高い
  - 「行事や日常のあいさつ等、授業以外での活動に取り組んでほしい」→52.3%
  - ・最も低い
  - 「まったく加えなくてもよい」→9.0%
- 前回調査（平成30年度）
  - ・最も高い
  - 「行事や日常のあいさつ等、授業以外での活動に取り組んでほしい」→51.1%
  - ・最も低い
  - 「まったく加えなくてもよい」→10.9%

### ポイント

過去調査でも「行事や日常のあいさつ等、授業以外での活動に取り組んでほしい」が過半数で一位。

## 家庭での取組み

### 【全体】

- ・積極的に教えている 12.9%
- ・時々教えている 44.8%
- ・合計 57.7%

### 【過去調査との比較】

- 前々回調査（平成29年度）
  - ・積極的に教えている 8.8%
  - ・時々教えている 38.6%
  - ・合計 47.4%
- 前回調査（平成30年度）
  - ・積極的に教えている 8.8%
  - ・時々教えている 42.1%
  - ・合計 50.9%

### 【性別】

- 男性
  - ・積極的に教えている 16.4%
  - ・時々教えている 44.3%
  - ・合計 60.7%
- 女性
  - ・積極的に教えている 9.8%
  - ・時々教えている 45.2%
  - ・合計 55.0%

### 【年代別】

- 最も低い→20代
  - ・積極的に教えている 5.5%
  - ・時々教えている 27.5%
  - ・合計 33.0%
- 最も高い→70歳以上
  - ・積極的に教えている 25.7%
  - ・時々教えている 45.8%
  - ・合計 71.5%

### 【地区別】

- 最も低い→八重山地区
  - ・積極的に教えている 1.8%
  - ・時々教えている 38.6%
  - ・合計 40.4%
- 最も高い→南部地区
  - ・積極的に教えている 17.3%
  - ・時々教えている 44.6%
  - ・合計 61.9%

### ポイント

全体の約6割がしまくとぅばを教えていると回答している。  
地区別では南部地区が最も取り組んでいる。

## 地域への愛着

### 【全体】

- ・とてもある 44.8%
- ・ややある 40.3%
- ・合計 85.1%

### 【年代別】

- 最も低い→30代
  - ・とてもある 41.1%
  - ・ややある 38.2%
  - ・合計 79.3%
- 最も高い→70歳以上
  - ・とてもある 63.5%
  - ・ややある 28.3%
  - ・合計 91.8%

### 【性別】

- 男性
  - ・とてもある 46.2%
  - ・ややある 39.0%
  - ・合計 85.2%
- 女性
  - ・とてもある 43.5%
  - ・ややある 41.4%
  - ・合計 84.9%

### 【地区別】

- 最も低い→北部地区
  - ・とてもある 48.0%
  - ・ややある 34.4%
  - ・合計 82.4%
- 最も高い→宮古地区
  - ・とてもある 65.3%
  - ・ややある 26.3%
  - ・合計 91.6%

### ポイント

性別での差は見られない。

地区別では宮古地区が最も愛着が高い。

## 「しまくとぅば」の普及継承の取り組みについての認知度

### 【全体】

- 最も低い  
「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」→0.9%
- 最も高い  
「しまくとぅばの日」→ 25.5%

### 【性別】

- 男性  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 0.7%  
最も高い→「しまくとぅばの日」 25.8%
- 女性  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 1.1%  
最も高い→「しまくとぅばの日」・「しまくとぅば普及推進CM」 25.4%

### 【年代別】

- 10代  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 0.3%  
最も高い→「しまくとぅばの日」 26.3%
- 20代  
最も低い→「しまくとぅば普及センターの設置」 0.8%  
最も高い→「しまくとぅば普及推進CM」 22.8%
- 30代  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 0.3%  
最も高い→「しまくとぅば普及推進CM」 26.9%
- 40代  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 0.8%  
最も高い→「しまくとぅばの日」 25.1%
- 50代  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 0.5%  
最も高い→「しまくとぅば普及推進CM」 28.6%
- 60代  
最も低い→「しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」 1.1%  
最も高い→「しまくとぅばの日」 30.5%
- 70歳以上  
最も低い→「しまくとぅばの森（五十音表）の作成」 1.7%  
最も高い→「しまくとぅば普及推進CM」 26.9%

### ポイント

認知度は「しまくとぅばの日」が最も高いが、25.5%と十分な認知とは言えない。  
年代では、「しまくとぅば県民大会」、「普及推進テレビ番組」、「しまくとぅば語やびら大会」の認知度に年代差がある。  
「しまくとぅば読本」は10代でやや多い。

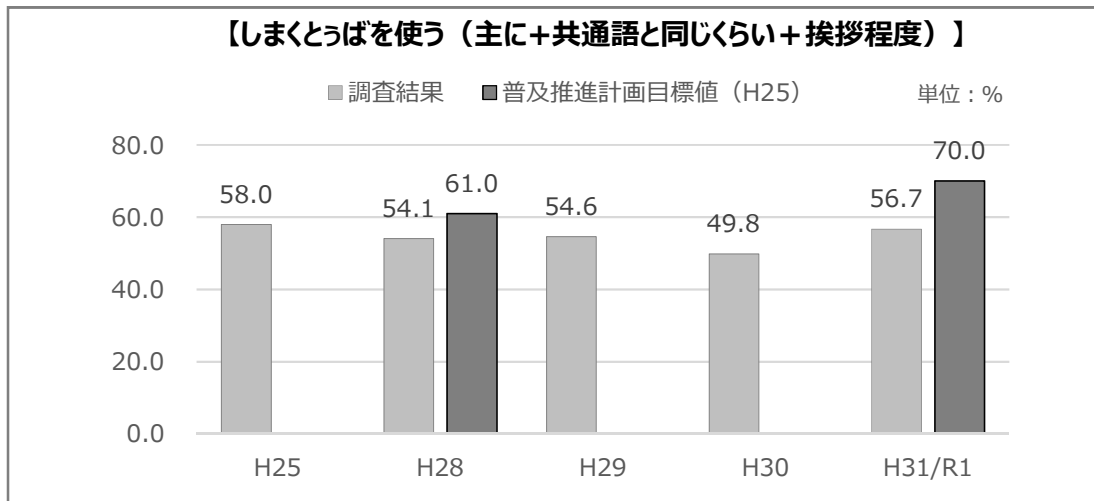
総括

「しまくとぅば」は、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等といった沖縄文化の基層となる大切な言葉である。しまくとぅばが失われると、県民の郷土愛も失われ、沖縄文化の衰退へと繋がるものと危惧される。

沖縄県では、「しまくとぅば」普及継承のため、「しまくとぅばの日に関する条例」、「沖縄県文化芸術振興条例」及び「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき、しまくとぅば普及推進計画（以下「普及推進計画」という）を策定した。普及推進計画において、「①しまくとぅばを主に使う」、「②しまくとぅばと共通語を同じくらい使う」、「③挨拶程度使う」人の割合の合計を、平成25年の基準値58%から、平成34年（令和4年、2022年）には88%とすることを目標として設定し、目標の達成状況については、「しまくとぅば県民意識調査」により把握することとしている。

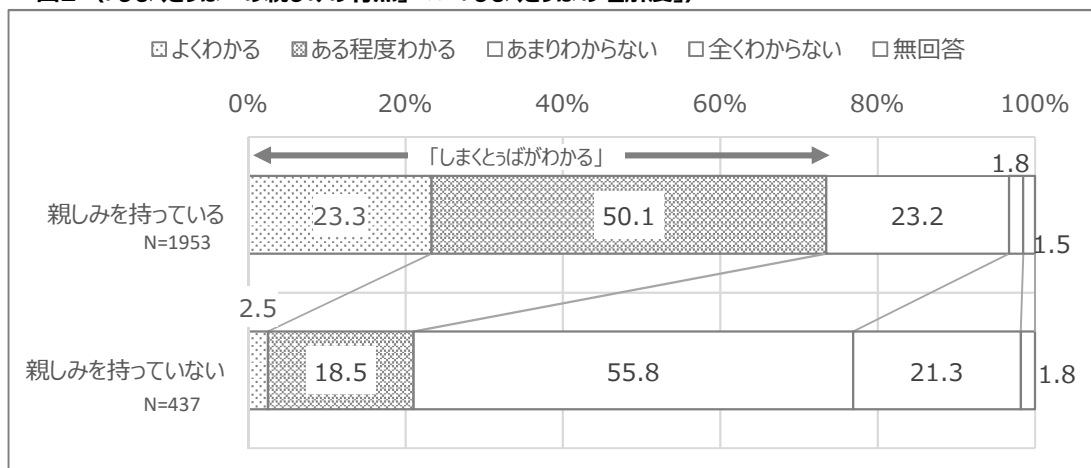
今回の調査の結果、「①しまくとぅばを主に使う」、「②しまくとぅばと共通語を同じくらい使う」、「③挨拶程度使う」人の割合の合計は、56.7%であった。（図1）

図1 <しまくとぅばの使用頻度推移と「しまくとぅば普及推進計画」における目標値>



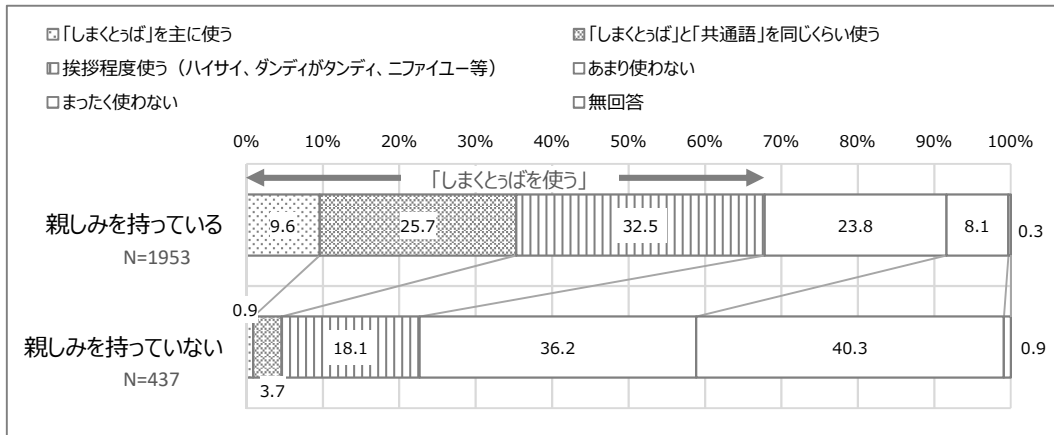
「しまくとぅば」に対する県民の意識は全体としては、高い好感度を有しており、全体で約8割が「親しみを持っている」と回答。また「普段の生活の中でしまくとぅばが必要」と考えている県民も約8割と高い水準である。そのような中で、実際に「しまくとぅば」を「挨拶程度以上」のレベル使っている方は、前述のように5割程度であり、その割合も伸び悩んでいる。そこで、「しまくとぅば」に親しみの有無や、「しまくとぅば」の理解度（わかる、わからない）などの視点で調査結果を改めてみる。まず、「親しみ」の有無と「理解度」の関係であるが、下記の通りとなった。（図2）「親しみを持つ」グループの理解度が73.4%に対して「持っていない」グループは21.0%と1/3程度である。

図2 <「しまくとぅばへの親しみの有無」 × 「しまくとぅばの理解度」>



次に「しまくとぅばの使用頻度」との関係をもてみると、下のようになる。(図3)

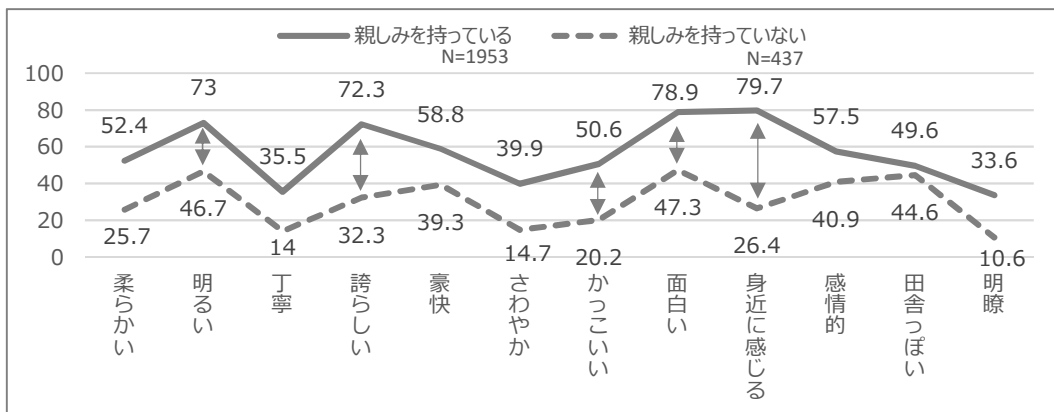
図3 「しまくとぅばへの親しみの有無」 × 「しまくとぅばの使用頻度」



「親しみを持っている」グループは「主に使う」が9.6%、「共通語と同じくらい」が25.7%、「挨拶程度」が32.5%で、合わせると67.8%となり、平成31年度の目標値の70%に近くなる。一方、「親しみを持っていない」グループでは「挨拶程度以上使う」は22.7%で、「親しみを持っている」グループとは40ポイント以上の差が開く結果となった。

次に「しまくとぅばに対する親しみの有無で「しまくとぅば」のイメージがどのように違うかを見てみる。(図4)

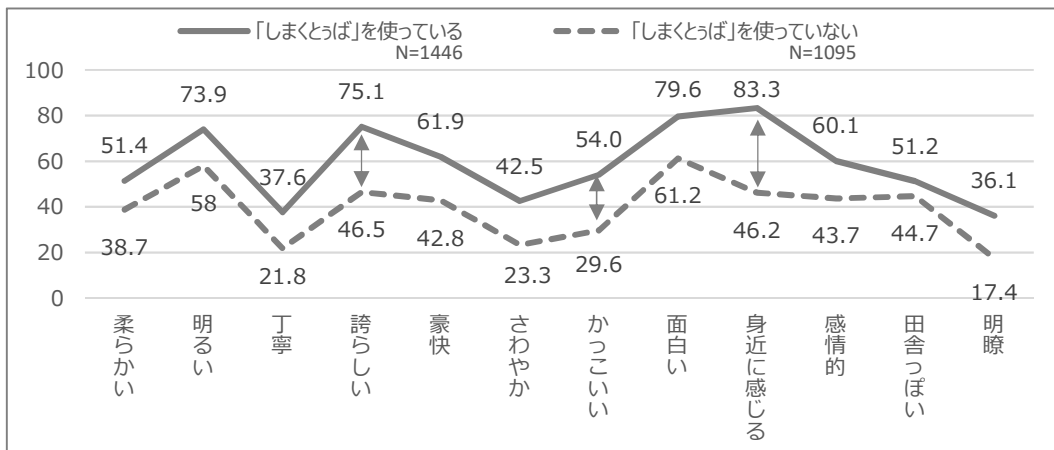
図4 「しまくとぅばへの親しみの有無」 × 「しまくとぅばのイメージ」



「親しみを持っている」グループは「明るい」、「誇らしい」、「面白い」、「身近に感じる」、「かっこいい」などでギャップが大きくなり、全体的にポジティブな評価をしていることがわかる。

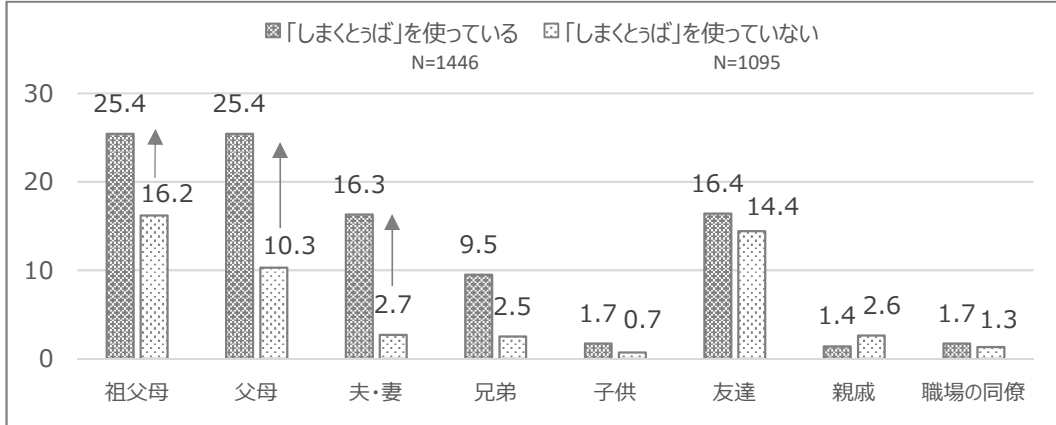
また、「しまくとぅば」を「使っている」、「使っていない」で同様の分析をすると「誇らしい」、「かっこいい」、「身近に感じる」などのワードでギャップが大きいことが分かった。

図5 「しまくとぅばの使用の有無」 × 「しまくとぅばのイメージ」



次に「しまくとば」を「使っている」、「使っていない」で、「しまくとばを使う相手」を見ると次のようになる。(図6)  
 「しまくとば」を「使う」グループは、「父母」、「夫・妻」、「祖父母」といった、「家族」との会話で「しまくとば」を使っているようだ。

図6 「しまくとばの使用の有無」 × 「しまくとばを使う相手」



また、自分が住んでいる地域への愛着の有無で「しまくとばへの親しみ」(図7)、「しまくとばの使用頻度」(図8)を見ると、「愛着を感じている」方は、「しまくとば」についても親しみが強く、使用頻度も多くなる傾向が見られる。年代が高くなるほど「愛着度」が高まる傾向が見られ、若年層でも「愛着度」を高める事が望まれる。

図7 「居住地域への愛着の有無」 × 「しまくとばへの親しみ」

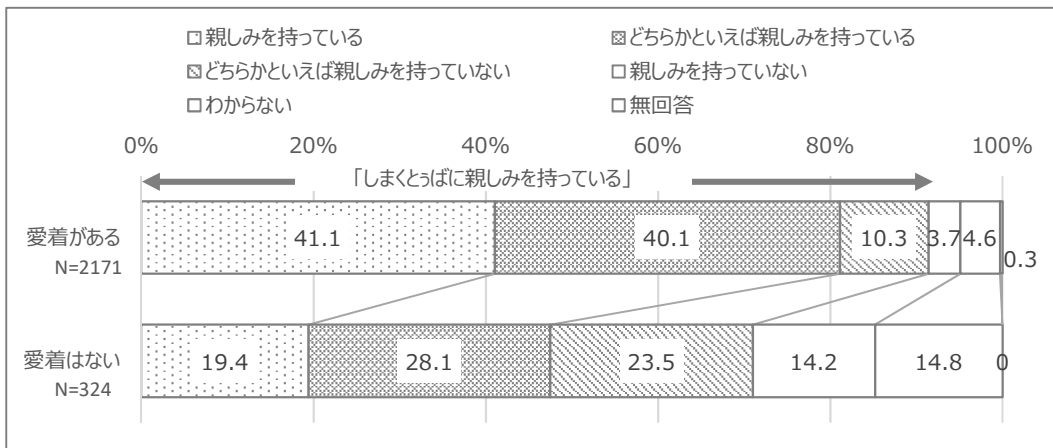
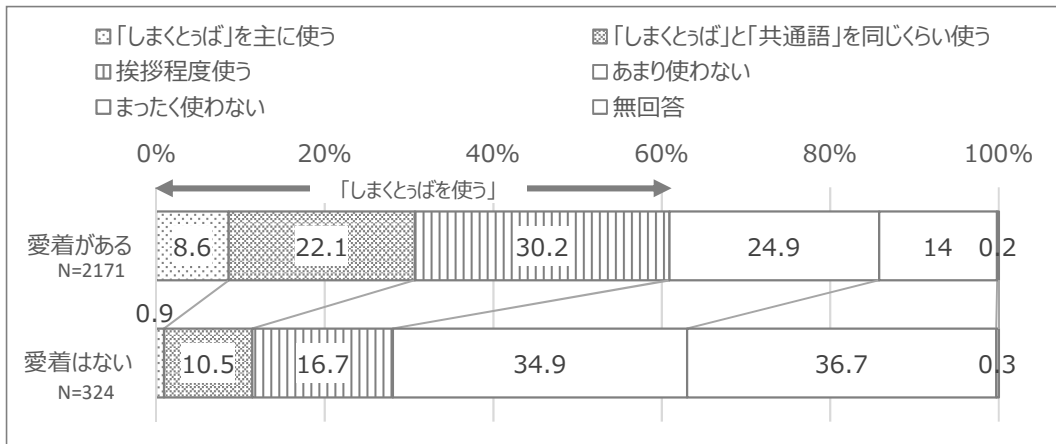


図8 「居住地域への愛着の有無」 × 「しまくとばの使用頻度」



以上みてきたように、「しまくとぅば」に対して「親しみ」を感じているか、感じていないかで、しまくとぅばに対する評価も変わってくる。「親しみがある」グループは、より「しまくとぅば」を肯定的に捉えており、使用頻度も高い。このことから、もっと日常的にしまくとぅばと接する機会を創出させることで、「親しみ」をより高めていくことが重要である。

また、地域への愛着の度合いとの相関も見られることから、単に「しまくとぅば」だけの普及活動ではなく、地域への愛着（郷土愛）を高めることも重要である。そのためには地域への関わりを強める必要がある。様々な地域活動への関わりの中から地域への意識が醸成され、地域文化としての「言葉」への関心も高まっていくことに繋がっていくと考えられる。

しまくとぅばを使わない理由についての「自由回答」を見ると、しまくとぅばを使っていない理由として、「わからない」という回答と共に、「周りで使っている人がいないから」、「使う人が身近にいない」といったコメントも多く、これは若年層だけではなく中高年層でも多く見られた。また、40代以上の年代からは「聞くことはできるが話すのは難しい」というコメントも散見され、普段しまくとぅばで話をしないため、しまくとぅばの会話力が低い方が少ない。しまくとぅばを理解している方でも、「周りに使う人がいない」⇒「使う機会が少ない」⇒「いざという時に言葉が出てこない」といったパターンであろう。一方、しまくとぅばを使っている方は、先述したように「家族」を相手にしまくとぅばを使っている割合が多い。まずは身近な家族の中でしまくとぅばを使ってみることが必要ではないだろうか。中高年の方は、しまくとぅばでの「敬語」「丁寧語」を気にする方も多いが、家族であれば気兼ねなく会話をできるため、しまくとぅばに慣れながら、徐々にレベルを上げていけばいいかと思われる。

子供たちについては、調査結果にあるように「学校の総合学習等での実施」が求められており、学校で学ぶきっかけを提供することが重要である。

ビジネスや公共の場といったシチュエーションでの使用は、現在は他府県の方も多いため、容易ではないと思われる。一般的に認知度がある「ハイサイ」程度の挨拶くらいで、限定的な使用にとどめるのが現実的であろう。

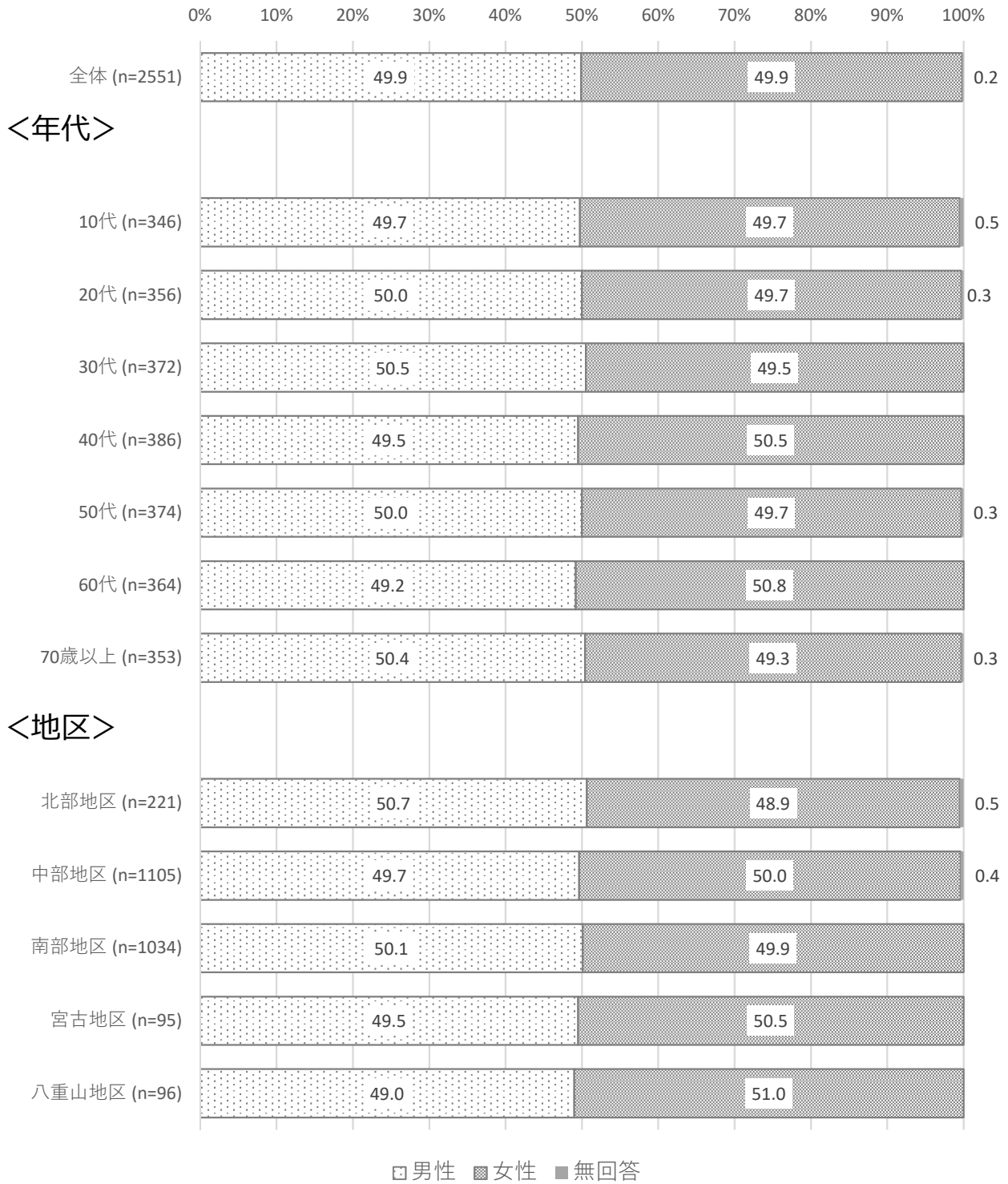
最後に啓発活動についてであるが、沖縄県が行っている各種施策については、まだ認知が十分ではないと思われる。「しまくとぅばの日」が25%ほどの認知率であり、「しまくとぅば県民大会」も17.8%と2割に満たない。またWEBサイトの「使ってみよう、しまくとぅばナビ」はわずか4%の認知率である。子供向けのサイトではあるが、コンテンツ内容も音声が入るなど面白いサイトになっているため、有効活用が望まれるところである。



## 第3章 調査結果

### 1.調査対象者の属性

#### 性別



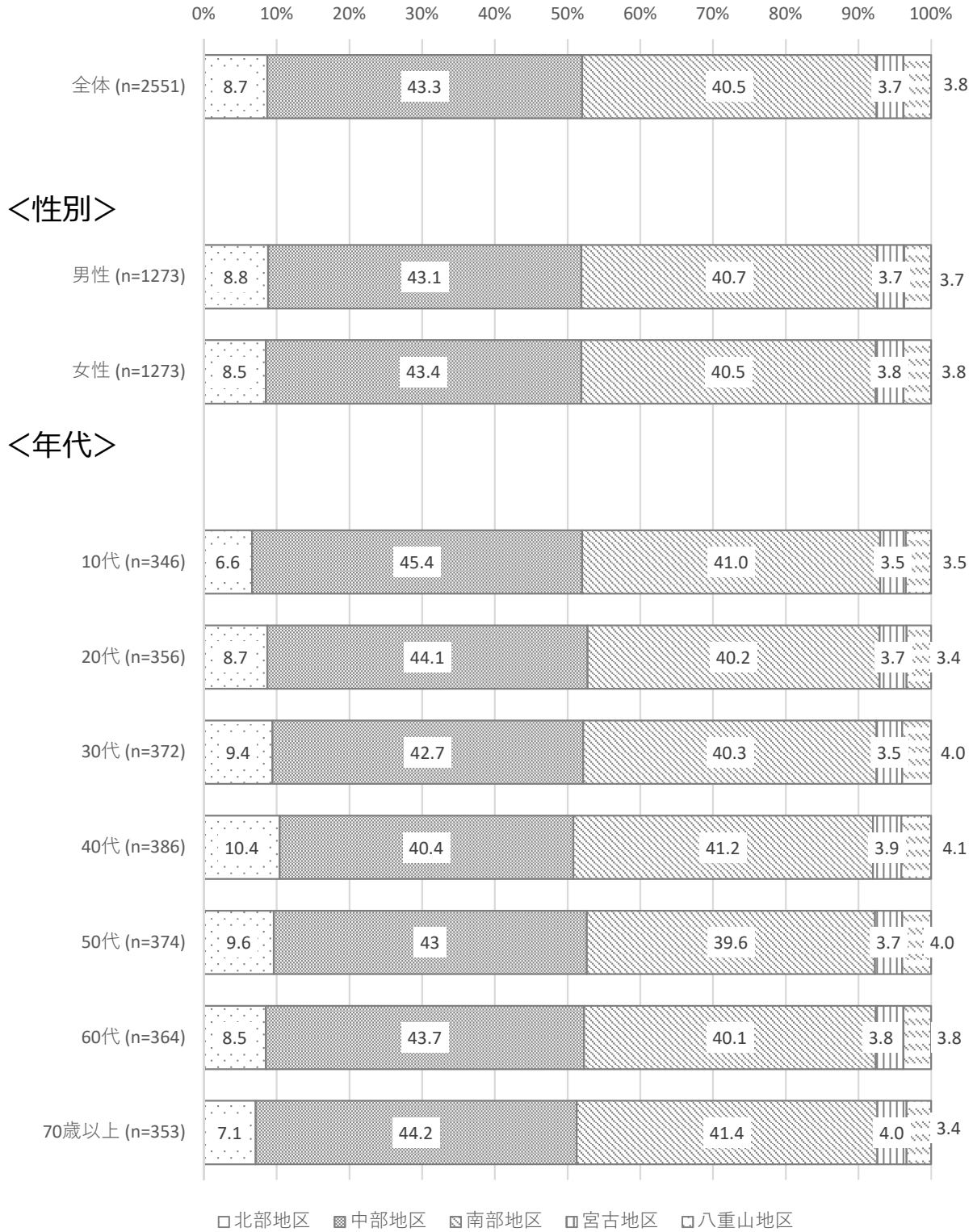
# 1.調査対象者の属性

## 年代



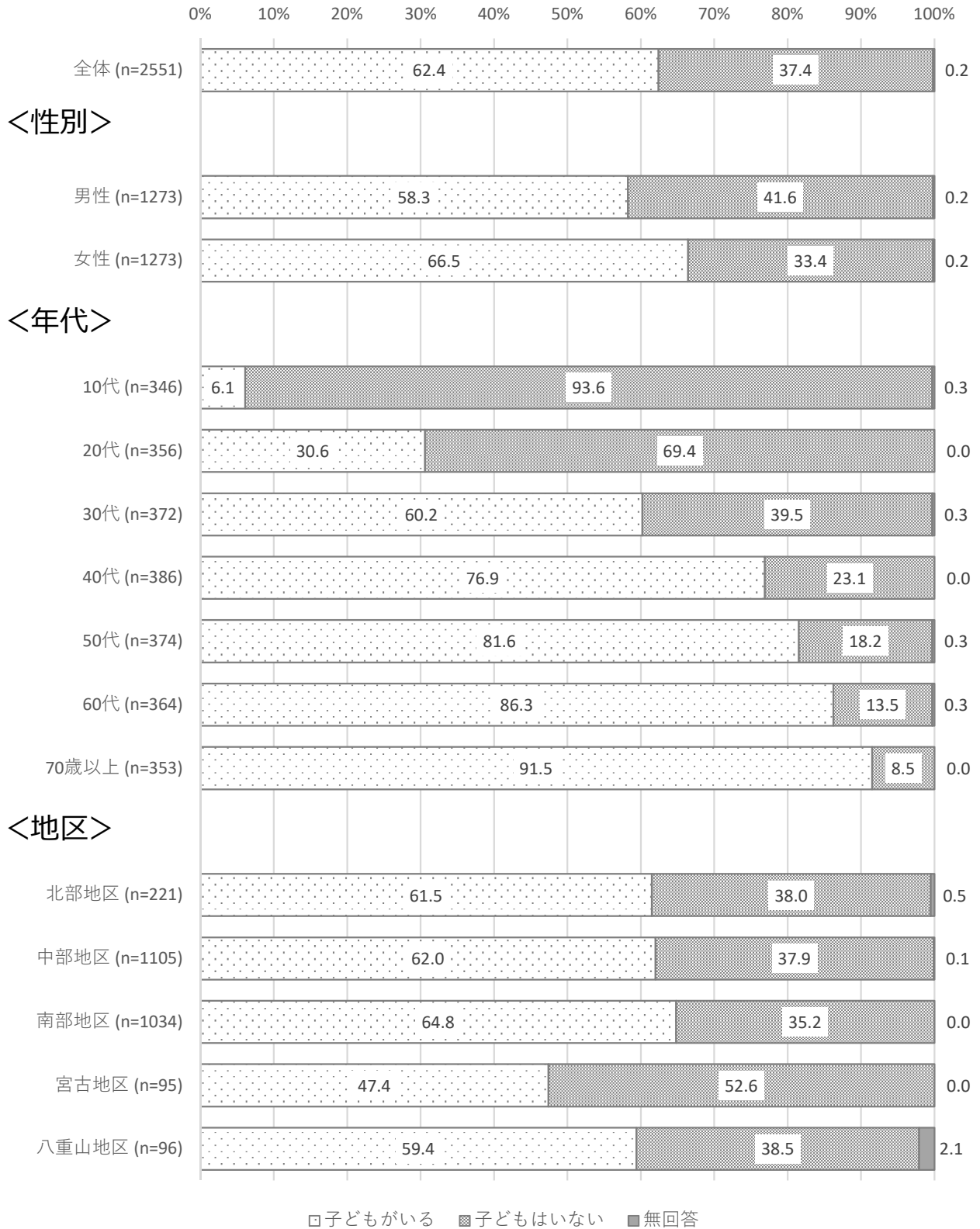
## 1.調査対象者の属性

### 居住地区



## 1.調査対象者の属性

### 子どもの有無



# 1.調査対象者の属性

## 出生地

